

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

奈良県立医科大学では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

膀胱尿管逆流手術における開放手術と気膀胱下手術の比較

1. 対象となる患者さん

2012 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに VUR に対して開放 Cohen 法もしくは気膀胱下 Cohen 法が施行された患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

3. 研究の目的と意義

膀胱尿管逆流に対する手術の中で Cohen 法は古くから行われ、その有効性と安全性からゴールドスタンダードとなっています。本邦では 2012 年から気膀胱下に行われる腹腔鏡手術が保険収載されましたが、その手術の難易度と有効性から広く普及しているとは言い難い現状です。本研究では当院で Cohen 法が施行された患者さんを対象に開放手術と気膀胱下手術の成績を比較検討します。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集します。

5. 使用する情報

- ①臨床所見（手術時年齢、身長、体重、既往歴）
- ②検査所見（VUR の grade、DMSA での腎瘢痕の有無）
- ③手術所見（手術時間、合併症）
- ④転帰（合併症、カテーテル留置期間、入院期間、VUR の消失率、再手術率）

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

7. 研究の実施体制

この研究の実施体制は以下のとおりです。

研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

研究分担者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 診療助教 橘 進彰

8. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2028年3月31日

9. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：morizawa@naramed-u.ac.jp